

第3回 新病院建設基本構想

市民ワークショップ通信

～みんなで考えよう あなたのまちの市民病院～

9月13日（土）、新城市民病院講義室で、「第3回新病院建設基本構想市民ワークショップ」を開催しました。市民や消防職員、市役所職員、市民病院職員等、48名の方にご参加いただきました。第3回では、第2回で出された意見を各グループで発表し、参加者全員で投票を実施しました。投票で上位となった意見を、市民ワークショップ全体の意見として取りまとめ、重点施策として最終決定しました。

※十分な感染症対策や熱中症対策を実施し、市民ワークショップを開催しております。

1 開会

院長からご挨拶をいただきました。



2 説明

第3回市民ワークショップの流れについて、説明を実施しました。

- ・第2回開催時に、8つのグループに分かれ「市民が創り、支える病院」を実現するために、新病院において「市民病院に期待する役割・機能は？」、「どのような施設、設備、サービスを望むか？」の意見を出していただき、それらをソフト面・ハード面の3つずつの代表意見を絞り込みました。
- ・それらの意見を一覧にし、グループの代表者による発表を行う。
- ・参加者は他グループの発表を聞き、全グループの意見の中で特に重要と考える意見2つに対して「いいね」シールによる投票する。
- ・最終的に得票数が多い上位3つの意見を、市民ワークショップの重点施策としてまとめる。

3 発表

各グループ5分間ずつで発表しました。取りまとめられたご意見だけでなく、その他にあがっていた意見の紹介や、議論の経緯も含め、グループ全体の考えをお話しいただきました。



4 投票

全グループの発表を聞き、参加者それぞれが特に重要と考えるご意見について、1人につき2票、投票いただきました。

投票はソフト・ハードの区別なく入れることができますが、同じ意見に2票入れることは不可とし、「いいね」シールを貼付していただきました。全部で96票あります。



5 投票結果とりまとめ

投票数を集計し、上位3つのご意見を、本ワークショップの重点施策として取りまとめました。また、ソフト面とハード面それぞれにおける上位3つのご意見についても、市民ワークショップにおける特に重要なご意見として取り扱いをさせていただきます。

・ソフト面での上位3位意見

順位	ジャンル	グループ	意見内容	票数
1位	人員確保	2	医療従事者確保ができる魅力的な病院	13票
		3	医師・看護師の確保に向けて、住居環境の確保や時差出勤・フレックス勤務など働きやすい環境をつくり、職員ひとりひとりの負担が軽減できる病院。そのためにも医療関係者が集合できるエリアやシステムを用いてコミュニケーションが図ることができ、その結果、医療関係者が集まる病院	
		7	医師、看護師等の医療スタッフが働きたくなる、定着してくれる労働環境（制度）の整備	
2位	医療情報システム	3	オンライン診療や予約状況の確認や混雑状況の確認ができるシステムが整備されている病院	12票
		4	オンライン診療の充実やICT医療への対応強化	
		6	診療の予約がスマホ等で簡単にできる、院内で待ち時間の解消、必要時に呼び出しがあるシステム導入。遠隔診療やオンラインでの診療や相談ができるシステム導入。	
		8	医療情報システムの充実（予約システム、呼び出しシステム、オンライン診療等）	
3位	診療体制	5	全世代に対応した在宅医療を支える病院（医療ケア児や在宅で医療機器を利用する患者への災害時対応含む）	8票

・ハード面での上位3位意見

順位	ジャンル	グループ	意見内容	票数
1位	災害対策	2	大規模災害に対応できる施設整備（ヘリポートの設置等）	10票
		4	拡張性を持った災害に強い建物	
		5	災害時に幅広い対応出来る病院作り。（免震構造や設備の充実）	
		6	災害発生時に病院として機能するために、災害に強い施設整備、設備整備を行う。	
		8	災害に強い建物（耐震・免震含む）	
2位	アクセス・駐車場	1	アクセス良好で市民が通いやすい病院	9票
		2	広くて大きい止めやすい駐車場	
		3	患者さんに高齢者が多いことから、自家用車での通院だけでなく、公共交通機関からのアクセスが行いやすい病院。自家用車で通院される方のために、十分な台数確保（立体駐車場も含む）や病院に直接入れる通路（雨の日でも濡れないルート等）が確保された病院。	
		4	自家用車がなくても（運転ができなくても）来やすい交通手段	
		5	市民にとって、通院しやすい場所に新病院を整備する。	
		7	病院へのアクセス向上に向けた、駐車場の整備や公共交通機関（バス・タクシーの運行時間の延伸等）の充実、市民サービス（交通弱者への対応）の向上	
		8	病院にアクセスしやすく、十分な広さをもった駐車場の確保	
3位	建物・設備	5	（整備費用の抑制や財源確保を前提とし）エコや低エネルギー、フレキシブルな諸室整備等、低コスト意識を踏まえた新病院整備。	4票

・市民ワークショップ投票結果

順位	ジャンル	グループ	分類	意見内容	票数
1位	人員確保	2	ソフト	医療従事者確保ができる魅力的な病院	13票
		3	ソフト	医師・看護師の確保に向けて、住居環境の確保や時差出勤・フレックス勤務など働きやすい環境をつくり、職員ひとりひとりの負担が軽減できる病院。そのためにも医療関係者が集合できるエリアやシステムを用いてコミュニケーションが図ることができ、その結果、医療関係者が集まる病院	
		7	ソフト	医師、看護師等の医療スタッフが働きたくなる、定着してくれる労働環境（制度）の整備	
2位	医療情報システム	3	ソフト	オンライン診療や予約状況の確認や混雑状況の確認ができるシステムが整備されている病院	12票
		4	ソフト	オンライン診療の充実やICT医療への対応強化	
		6	ソフト	診療の予約がスマホ等で簡単にできる、院内で待ち時間の解消、必要時に呼び出しがあるシステム導入。遠隔診療やオンラインでの診療や相談ができるシステム導入。	
		8	ソフト	医療情報システムの充実（予約システム、呼び出しシステム、オンライン診療等）	
3位	災害対策	2	ハード	大規模災害に対応できる施設整備（ヘリポートの設置等）	10票
		4	ハード	拡張性を持った災害に強い建物	
		5	ハード	災害時に幅広い対応出来る病院作り。（免震構造や設備の充実）	
		6	ハード	災害発生時に病院として機能するために、災害に強い施設整備、設備整備を行う。	
		8	ハード	災害に強い建物（耐震・免震含む）	

6月、7月と続き今回3回目のワークショップについて、皆様のご参加で本日結果の報告をいただくことができました。本当にありがとうございました。

令和5年11月に市民病院を移転改築するという大きな方針決定をしました。そして現在に至っています。1回目のワークショップではみなさんは入ったことがない院内も含め、しっかり見ていただけました。私自身も地下の設備室を初めて見ました。また、診療体制も含め病院の現状、これから先の東三河北部医療圏の医療需要や、入院、通院の割合がどのように推移していくかなど色々な観点から説明させていただいたので皆さんに深く認識いただけたと思っています。それらを踏まえて2回目のワークショップでハード面、ソフト面でどういう役割、機能を期待するか、どのような施設、設備、サービスを望むのかについて意見を出してもらいました。皆さん自身やご家族が、新城市民病院で診療を受ける立場になったりしたらどうだろうか、病院で働いている立場でどう思うか、何が必要か等、色々な観点でみなさんに意見を出していただけたと思っています。今、2050年ですが高齢者数が全国的にピークになる2040年問題といった時代、自分がそういった年になった時も想定して皆さんに意見を出していただけたと思っています。

今回のワークショップの意見出しの中で色々な大変重要なキーワードをいただきました。新しい病院の基本構想を作る段階で出来ることと出来ないことがあると思いますが、その重要性をこれから先の15年後、20年後のこの地域の将来像を見通してどうしても必要なもの、出来ないけれど医療連携でやっていくこと、また、別の形で実現を図っていくもの、そうしたことを整理して基本構想をまとめていく予定です。令和8年度は基本計画の策定を進めていきます。その段階で次のステップに進めていけるかきちっと精査をする段階となり、今後も重要な局面があります。新病院の建設は大きなプロジェクトであり、大きな事業には大きな困難が伴います。ただ、こうしてみなさんが熱意をもって将来に向けて希望をもって意見をいただいた、この希望が叶うように希望が実を結ぶように、きれいごとではなく市、職員、病院、病院職員、市民の皆さんと一緒に発想の出発点が希望に向かっていこう、こういう考え方でこの事業を推進していきたい。

これから基本構想をまとめる段階になっていきますが、皆さんには引き続き必要な情報提供をしながら、必要な意見を聴取しながらしっかりと事業を進めていきたい。

最後になりますが、みなさんのこの間のご協力に対し心より敬意、感謝を表しますとともに、これからもご理解とご協力、サポートをお願いしたい。ありがとうございました。



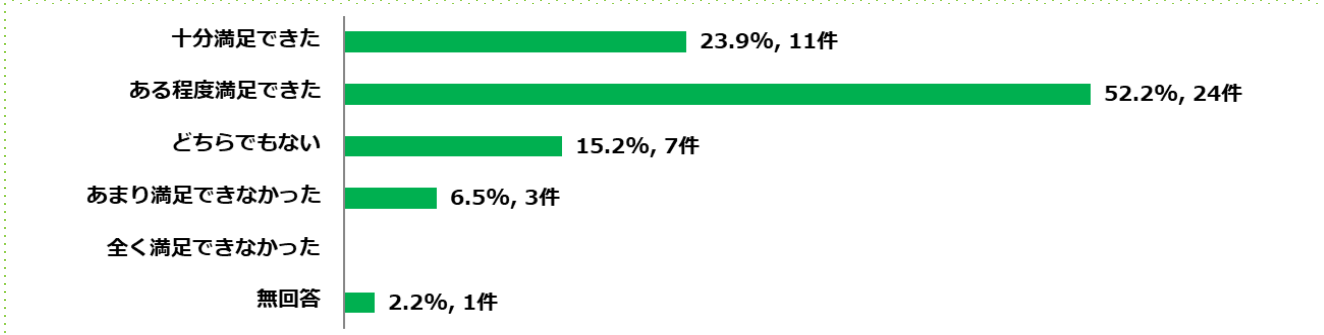
7 終了時アンケートの実施

ワークショップ終了後、参加者の皆様に、アンケートを実施しました。46名の参加者から回答をいただきました。

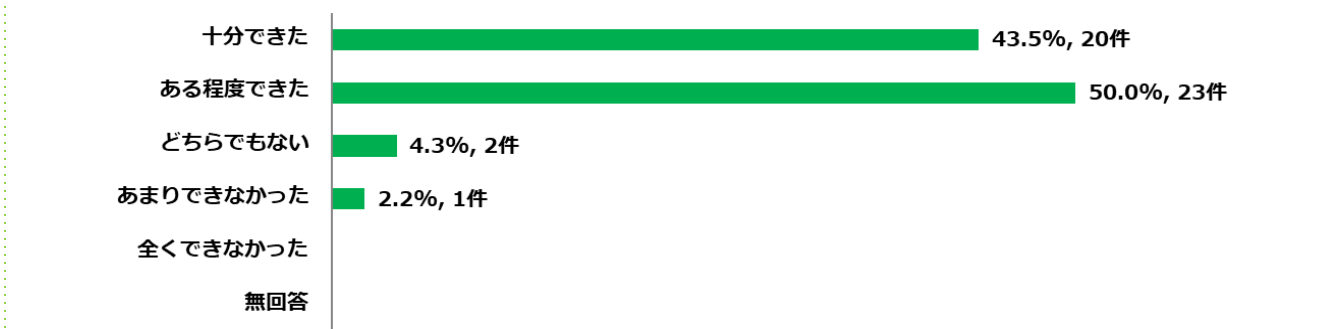
回答結果を以下に記載します。

第3回市民ワークショップについて

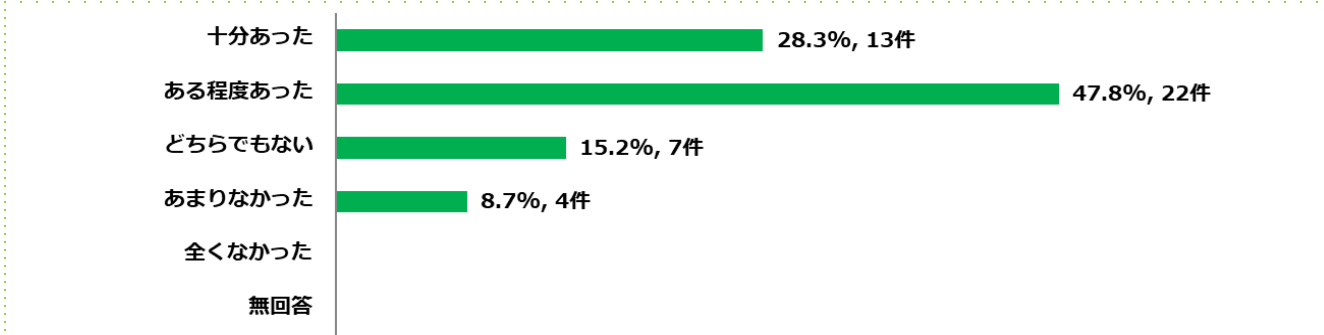
問.本日の活動内容について、感想を教えてください。



問.全グループの意見発表を通して、他グループの意見に共感することができましたか？

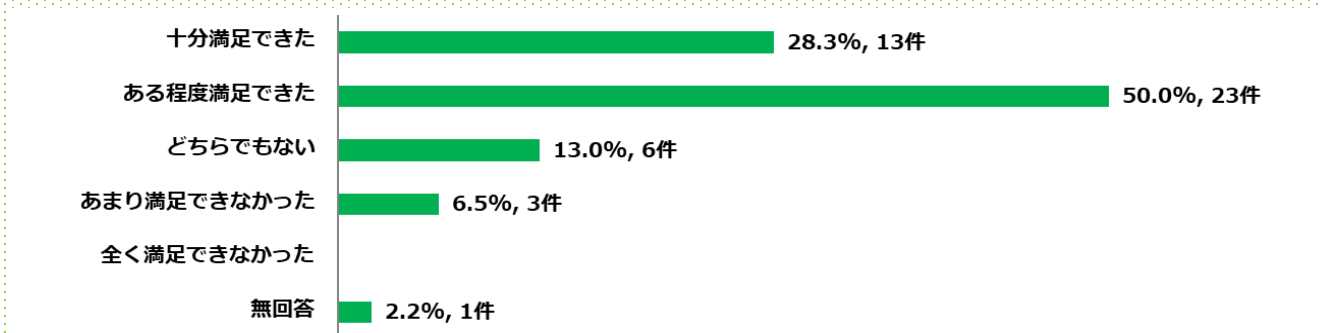


問.本日の取組みについて、達成感がありましたか？

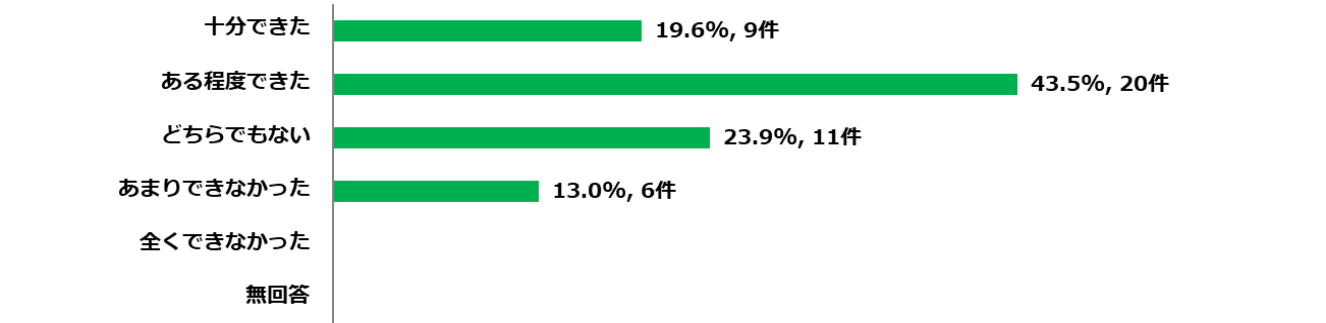


市民ワークショップ全体について

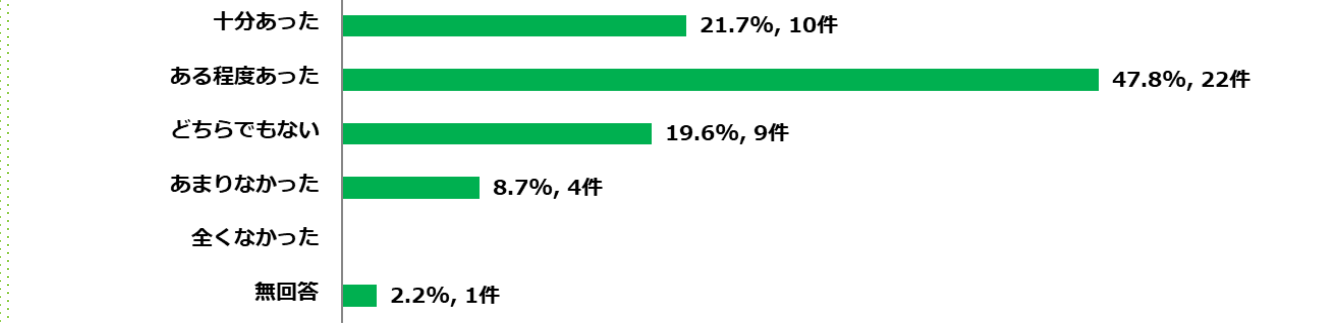
問.全体を通して、活動内容への感想を教えてください。



問.全体を通して、ご自身は積極的に活動できたと感じますか。



問.全体の取組みについて、達成感がありましたか？



自由記載

1	全グループのまとめた意見を聞き、求めることは同じなのだと感じた。市民の方の思いを色々聞けて良かった。
2	みなさんの新城市民病院への熱い思いが聞けてうれしかったです。資金にも限りがあるので災害はききんなので、それに対策してほしいです。
3	特にありませんがワークショップ運営お疲れ様でした。
4	ありがとうございました。
5	新しい病院の完成が楽しみです。私たちの思いや意見、考えが反映されていることを願っています。ありがとうございました。
6	病院に医療以外または周辺のサービスや機能を求める方が多いという事が知れて良かったです。
7	ワークショップの意見を踏まえ、なるべく多くの方が納得できるような構想になっていったら良いと思います。多くの方から意見を伺うことができ、楽しく参加することができました。企画・運営してくださった事務局の方をはじめ、スタッフの方、ありがとうございました。
8	参加者の思いが可視化され、とても分かりやすいと思いました。
9	良い意見が多く、重要なもの2つを選ぶのに迷った。グッドはつけていないがコンパクトホスピタルの考えも良いと思った。建物の完成も未来、その後の運営も更に先の時代なので将来を見据えて構想ができると良いと思います。大変だと思いますが期待しています。

10	新しくなる新城市民病院に大いに期待したいと思います。よろしくお願いします。
11	多数の意見があったこと、関心の高さにびっくりしました。しかし市民自からの思いが少なく当事者としての意見が必要ではないか。ワークショップは大切な手法ですが、参加されていない多くの市民へ沢山の情報提供が必要です。特に財政面で知りたい。行政側と話し合って市民へ情報を。
12	骨太の計画とか予算とかあってそれに対しての意見だったらいっぱい云えたかも。実現してもらえそうもないかもとか思ってしまう。理想を語ってみたいけれど。
13	結果について、自分の思ったものとはがうため不満に思った。
14	最多投票の項目については、基本構想の中でも具体的な策を立てるのが難しいのではないかな。
15	シールを貼る時の分類の仕方が変。ソフト面はやたら細かく、ハード面はおおざっぱだったけど。ソフト面も共通項を大きくした方が良かったと思う。 いろんな意見が出たけど新城は確実に人口減少に向かってる。建物がいくら立派でも医師がいなければ病院ではない。そこをよく考えて財政面の制約もあるのでよく検討していただきたい。
16	市民病院について皆さんと話し合うことができ、有意義なワークショップでした。ただ最後の投票結果の1位が「人員確保」だったことについては、これで良かったのかと率直に思います。今回のワークショップのゴール、目的として、達成されたのでしょうか。
17	実施設計がいつからされるか気になります。
18	第1は医師の確保。現在手術は1日何人か？ 交通の便 看護師さんのミーティング、教育など。1) 聴く耳を持つ、2) 言葉やさしさ思いやり、3) 笑顔あいさつ
19	現状の場所をリフォームするのか違う場所を確保してあるのですか。 いつから工事に入って着工完了予定はいつ頃なのですか。 建物の定期点検をお願いしたいです。
20	小集団でも良いのでこの作業、打合せ、協議を継続して欲しい。
21	意見がわかりやすく分類されてあったので、投票用紙が送付資料の中に入れてあると、進行（投票、発表）がスムーズだったかなと思いました。ありがとうございました。
22	他のグループの発表を聞き、 <u>1番は命を救うことができる病院であって欲しい</u> と思いました。他市の病院に飛ばされてしまうことを考えると安心して住み続けることが難しく、少し肩身も狭いです。

23	市民病院問題は身近な問題であるため関心が高いと思う。救急医療、災害医療、奥三河地域の基幹病院としての役割が重要であるため行政としても1丁目1番地で取り組んでほしい。新城市だけでなく愛知の北部医療として重要であるため県や国に対しても要求・要望していくことが重要。特に財政面がネックになるため、国をあげて取り組んでほしい。
24	是非とも反映させてください。
25	新城市は療育が必要な児に対しても、専門機関が脆弱で、豊橋のほいっぷに送ったり、出産できる病院もなく、豊橋、豊川に送る等、少子化対策に逆行している。建替えの費用をそれらの喫緊の政策に使ってほしい。そのためには建替えではなく今の建物の耐震リフォームで費用の削減をお願いしたい。市民の血税は優先順位を決めて有効に使ってほしい。医療のトリアージ、行政でもやってほしい。
26	少数の意見も尊重して、前向きに検討していただきたい。〇〇弱者と言われるような方の利便性を高めていただきたい。
27	未来の子供たちの為になることを、またはこれからの新城市が盛り上がるように考えてほしい。
28	市民ワークショップは終了しますが、その後どのような話し合いが進んでいるのか、報告してもらえると参加した意味を感じます。
29	多くの診療科を設けるのが難しかったら、その周りに専門病院の誘致等、柔軟な考え方も？どの意見も含めて新病院づくりをお願いしたいと思います。土地が広がったら周りに市民が集まることができる施設ができるといいな。
30	今後この市民病院の構想がどうなっていくのか、市長さんからの話でわかりました。
31	「達成感があまりなかった」のは、自分の考えをしっかりと持たず参加してしまったからと反省しています。
32	前回より期間があいてしまったので思い出すのが大変でした。

今回、計3回の開催を計画した市民ワークショップにご参加いただいた皆様には、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。

参加者の皆様からいただいたご意見を市民の思い、ニーズとして基本構想に反映させていただきます。また、今回上位3位とらなかったご意見や、グループでの取りまとめ意見に入らなかったご意見についても、今後の参考にさせていただきます。

運営上、行き届かない点もあったかと存じますが、参加者の皆様に当院の現状をご理解していただいた上で積極的に意見をだしていただくことができ、お陰で多くの意見をいただくことができたワークショップとなりました。また、新病院建設基本構想の策定に向けて直接多くのご意見を拝聴できる貴重な機会となりました。

本当にありがとうございました。

